

1-1 さっぽろ “えがお” 指標

(1) 「さっぽろ “えがお” 指標」とは

成果指標は、まちづくりを担う市民・企業・行政などの都市の構成員が理念を共有し、おのこの立場からその期待される役割を果たし、その達成について、共に目指していく指標です。

そこで、この計画では、より親しみやすい成果指標となることを目指し、成果指標を「さっぽろ “えがお” 指標」と呼びます。これは、この指標の達成が市民の幸福度を上げて、みんなの笑顔を広げていくことをイメージしたものです。

(2) 第3次札幌新まちづくり計画における位置づけ

第3次札幌新まちづくり計画における「さっぽろ “えがお” 指標」は、まちづくりを担う市民・企業・行政などの各主体が目指していく目標を具体的かつわかりやすく示したものであり、各主体の取り組みを促し、その達成を目指すものです。

また、指標の性質により、重点課題ごとに「市民意識・行動指標」「社会成果指標」の2種類を設定しました。

「市民意識・行動指標」

市民の意識や行動について、定期的なアンケート調査などによって得られた数値によりその傾向を把握するもの。

「社会成果指標」

統計数値を利用、あるいは独自の調査により把握した数値を用いて、その傾向を把握するもの。

(3) 指標選定の基本的な考え方

重点課題ごとに5から9の指標を設定しており、計画全体で86項目設定しています。

指標選定にあたっては、市民に分かりやすい、集約的・代表的であるといった要素や、既存の部門別計画における設定の状況なども踏まえながら、選定しています。

(4) 目標値設定の基本的な考え方

基本的には、指標の現状値や既存の部門別計画、過去の推移、他都市の状況などを踏まえた上で設定していますが、指標によっては、努力目標的要素を加味して高めの目標設定を行ったものも含まれています。

今後、市民・企業・行政が共に目指す目標として、おのこの役割を果たしながら、その達成を目指していきます。

(5) 「さっぽろ “えがお” 指標」の活用

「さっぽろ “えがお” 指標」は実績値を定期的に調査し、毎年度の進捗管理に役立てるとともに、政策・施策の成果を把握しながら、計画事業の効果的・効率的な推進に活用していきます。